

あおもり家庭教育アドバイザーフォローアップ研修

令和8年9月27日（日）県総合社会教育センター 受講者7名

1 内 容

【講 義】「あおもり家庭教育アドバイザーの役割とあおもり親楽プログラムの活用について」
県総合社会教育センター職員

【演習Ⅰ】「あおもり親楽プログラム計画シートの作成」

【演習Ⅱ】「あおもり親楽プログラムの体験」

【情報交換会】



【あおもり親楽プログラムとは】

子どもの理解や親子の関わり方等、子育てに必要な知識やスキルについて、親同士が身近なエピソードやワークをとおして話し合い、主体的に学ぶ「参加型の学習プログラム」です。親同士が話し合いを進めていく中で、それぞれが自分自身の課題に気づいたり、親としての役割やあり方について考えたり、整理したりすることをねらいとしています。

【演習の概要】

研修会を想定し、プログラムの計画シートを作成しました。進行する上で押さえるべきポイントの確認や時間配分の工夫等、研修が充実したものとなるようにグループで意見交換しながら取り組みました。

また、計画シートをもとに演習の進行を体験しました。プログラムの進行状況や参加者の様子を踏まえた言葉掛けの仕方等、実践的なスキルについても学びが深まり、今後の活動につながる充実した演習となりました。



2 受講者の感想

- ・改めて、プログラムの内容や進行の仕方を確認することができて良かったです。プログラムを進行するための時間配分など、参考になりました。
- ・それぞれのアドバイザーの演習を経験して、新しい素材として活用させていただこうと思うことが多々ありました。
- ・演習（いろいろな方のスタイルを見る学び）がやはり力になると感じました。会場の人たちの雰囲気や流れをつかんで進行することを学びました。
- ・情報交換の時間に詰まった情報が、とても貴重でした。
- ・アドバイザー派遣を経験している皆さんと話せる場は、とても良い時間でした。
- ・フォローアップ研修の機会をもっと増やしてほしいと感じました。